奈良女子大学 大学院人間文化総合科学研究科

奈良女子大学博士後期課程学生支援SGC-NEXUS運営委員会　御中

　奈良女子大学博士後期課程学生支援SGC-NEXUSに応募するため，下記のとおり申請いたします。

奈良女子大学博士後期課程学生支援

 SGC-NEXUS活動計画書

　　　　　　　　　　　　　　　　　　記入日：　　　年　　月　　日

|  |  |
| --- | --- |
| フリガナ氏　名 |  |
| 活動計画 | *（支援希望期間中の研究活動計画及び海外派遣又はインターンシップの計画を、年度ごとに具体的に記して下さい。長期履修学生の方は、受給期間中（D3の終わりまで）とその後の計画を分けて下さい。博士後期課程入学後に、すでに海外での活動やインターンシップの経験がある方は、その実施内容と成果について概要を記してください。本活動計画は1ページ目の中に納めて下さい。記入にあたっては、括弧内のイタリック体指示説明文は削除してください。）* |

・研究活動にかかる予算内容（年度ごとに明細と合計金額を記してください。ページが増えても構いませんので、具体的に記して下さい。）

※研究費として年間18万円を支給。必要に応じて10万円までの増額を認めます。

【備品・消耗品】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（金額単位：千円）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年度 | 備品の明細 | 消耗品費の明細 |
| 品名・仕様 | 金額 | 事項 | 金額 |
|  |  |  |  |  |
|  | 合計 |  | 合計 |  |
|  |  |  |  |  |
|  | 合計 |  | 合計 |  |
|  |  |  |  |  |
|  | 合計 |  | 合計 |  |
| 備品費、消耗品費の必要性（申請書の研究計画との関連性がわかるように記してください） |
|  |

表は、年度ごとの集計を必ず行ってください。

表の枠数が足りない場合は、適宜追加してください。

【旅費・人件費・謝金・その他】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（金額単位：千円）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 国内・外国旅費の明細 | 謝金の明細 | その他の明細 |
| 事項 | 金額 | 事項 | 金額 | 事項 | 金額 |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  | 合計 |  | 合計 |  | 合計 |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  | 合計 |  | 合計 |  | 合計 |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  | 合計 |  | 合計 |  | 合計 |  |
| 旅費、人件費・謝金、その他の必要性（申請書の研究計画との関連性がわかるように記してください） |
|  |

表は、年度ごとの集計を必ず行ってください。

表の枠数が足りない場合は、適宜追加してください。

■海外派遣またはインターンシップを希望する場合に記入

・海外派遣またはインターンシップにかかる予算内容（年度ごとに明細と合計金額を記してください。ページが増えても構いませんので、具体的に記して下さい。）

【旅費・その他】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（金額単位：千円）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年度 | 国内・外国旅費の明細 | その他の明細 |
| 事項 | 金額 | 事項 | 金額 |
|  |  |  |  |  |
|  | 合計 |  | 合計 |  |
|  |  |  |  |  |
|  | 合計 |  | 合計 |  |
|  |  |  |  |  |
|  | 合計 |  | 合計 |  |
| 旅費・その他の必要性（本活動計画書の活動計画との関連性がわかるように記してください） |
|  |

表は、年度ごとの集計を必ず行ってください。

表の枠数が足りない場合は、適宜追加してください。

■注意点：原資が税金であることを常に念頭に置いて作成すること

具体的には，以下の点などに留意して下さい。

・研究費の上限額が守られているか。（年間18万円を支給。必要に応じて10万円までの増額を認めます。※海外派遣・インターンシップにかかる予算は研究費には含まれません。）

・各予算費目の積算明細（例えば，単価×数量，学会や調査の場所・地域，宿泊日数，宿泊単価，交通費を使用する場合の目的地，など）が明記されているか。

・資料・図書費についても，およその単価×冊数，和書か洋書か，などの情報が示されているか。

・不適切な使途はないか（生活費や検定受験料は計上できません）。

・高価な物品や試薬等は，それが研究に本当に必要であることが説明されているか。